

# 《2007年9月例会報告》

## ■フットサル／Fリーグ2007 開幕戦 観戦ツアー

【日 時】2007年9月23日（日）13：30～18：30頃

【会 場】国立代々木競技場 第1体育館（JR原宿駅または東京メトロ千代田線明治神宮前駅下車）

【時 程】

13：30 集合

14：00 開幕セレモニー

15：00 名古屋オーシャンズ vs デウソン神戸 観戦

17：00 ペスカドーラ町田 vs シュライカー大阪 観戦

## ■フットサル／Fリーグ2007 開幕記念懇親会（月例会）

【日 時】2007年9月23日（日）19：00～21：00

【会 場】『風芽車』（かざがくるま） 渋谷区神南1-19-3 ハイマンテン神南B1

【テーマ】Fリーグ開幕を祝して乾杯！

【参加者（サロン2002関係）】12名

伊藤崇★（小金井市役所） 梶野政志（小金井市役所/TFAフットサル委員長） 加納樹里（中央大学）・宏一★ 北原由（都立武蔵野北高校） 斎藤紀之★（株クラブハウス） 田中理恵（アマチュア写真家） 徳田仁（株セリエ/TFAフットサル委員） 中塚義実（筑波大附高/TFAフットサル委員） 本多克己（株クラブハウス） 村木初年（TFAフットサル副委員長） 吉村修（JFA審判委員会・フットサル部会／高知県サッカー協会） ※名前のある★は、未会員であることを示す

【参加者（トライアルFA関係）】14名

真田幸明（JFA・CHQ部長） 清水美香（JFA・CHQ） ほかに全国から12名

※JFA=(財)日本サッカー協会／TFA=(財)東京都サッカー協会／CHQ=キャプテン・ヘッドクォーターズ

注) 参加者は所属や肩書を離れた個人の責任でこの会に参加しています。括弧内の肩書きはあくまでもコミュニケーションを促進するため便宜的に書き記したものであり、参加者の立場を規定するものではありません

\*\*\*\*\*

## Fリーグ開幕を祝して乾杯！

— Fリーグ観戦ツアー&懇親会 —

\*\*\*\*\*

### I. 概 要

#### 1. 原宿駅前にて

原宿の駅に着いたのは13：00頃だった。ちょっと早めに着いたので、体育館へ行きがてら「マンウオッチング」を楽しむことにした。

神宮橋上に数ヶ所、人の輪がある。何してるんやろと思って近づいてみると、外国人リポーターがコスプレ少女にインタビューしているところであった（テレビカメラあり）。周りを見てみると、そこかしこに、これが人間か～と思えるような、アニメの世界から抜け出たような格好をしている女の子が大勢いる。その周りで外国人観光客が興味深げに写真撮影している。コスプレ少女を日本人の代表にされたら困るなあと思いつつ、俺はその外国人をカメラに納めた。

せっかくなのでコスプレ少女に、「今日は何かイベントでもあるの?」と、やさしく声をかけてみた(変なおっさん風ではない)。どうやら特別な日ではなさそうで、テレビカメラを持った外国人がいたから人が集まっていただけだという。「何でそういう格好してるの?」と、ちょっとぼけたおっさん風に聞いてみると「これ、普段着だよ〜」とのこと。う〜ん、理解不能…

とまあこんな感じで冷やかしながら歩いていると、代々木体育館に到着した。

後の話になるが、1試合目と2試合目の間にも代々木公園へマンウォッチングに行ってみた。ここでも不思議な光景に出くわした。リーゼント頭の「おやし軍団」が10数名、数名のコスプレおばさんとともに踊っている。80年代ディスコ風とでもいうのか、よくわからないが、ここでもやはり外国人が不思議そうに見守り、写真を撮っている。高校の文化祭ではここ数年、ヒップホップ系のダンス・パフォーマンスがものすごく増えているが、街中でこんな風にやっているのは不思議な感じがした。

## 2. 開会セレモニー

代々木体育館には定刻までに全員集合。チケットのやり取りも無事完了して入場。券種の関係で観戦は各自ばらばら。私は徳田さんと1階特別招待席での観戦となった。

14:00から開幕セレモニーと告知されていたが、ピッチ上ではフットサルのルール解説など、観客をあきさせない工夫がされていた。しかし予定されていた時刻になっても開会セレモニーは始まらない。本当の開始時刻は14:10過ぎだったらしいが、それでも遅れ、実際に始まったのは14:20過ぎだった。何かあったのだろうか(要人の到着が遅れたとか…)。

開幕セレモニーは、簡潔で、スマートで、好感の持てるものだった。COOの大仁邦弥氏による開会宣言は、どこかで聞いた(間違いなくJリーグ開会宣言)フレーズで構成されており、さらにコンパクトにまとめたような宣言だった。ご自身の名前すらフルネームで呼ばず、「COO、大仁」とあつげなかった(後日談:実は、ご本人はちゃんと「だいにくにや」と言われたのだが、どういうわけか後半部分がマイクでうまく拾えていなかったのだそうです)。

## 3. 試合観戦

開幕戦は名古屋オーシャンズvsデウソン神戸。緊張感たどようピッチ上に現れた両チームを比較すると、全員がプロ選手の名古屋の方が明らかに体格がいい。優勝候補No.1との前評判どおり、ほとんどボールをキープしていたのは名古屋。しかし神戸も、守ってカウンターというねらいが徹底されており、むしろ神戸の思惑通りのゲーム展開といった感じである。Fリーグ初ゴールが生まれたとはいえ、ボールをキープする側が慎重すぎ、守っている側がカウンターのみでは正直眠くなる。そんな前半だった。

後半、神戸が追いついたあたりからゲームが動き出すかと思われたが、相変わらず慎重なプレーに終始する(もっとシュートを打て!)。時間もなくなってきた、名古屋はGKをフィールドプレーヤーに代える「パワープレー」に。21試合もあるリーグ戦の緒戦で、しかも1-1の引き分けの状況で、なぜパワープレーが必要なのか、意味がわからなかったが、「フットサルにはこういうプレーもあるのだよ」ということを広く知ってもらうには良かったかもしれない。結局ゴールは決まらず、1-1の引き分けで開幕戦は終了した。神戸の選手が抱き合って喜んでるのが印象的だった。

2試合目は、ペスカドーラ町田とシュライカー大阪のゲーム。Fリーグ発足以前に何度も全国優勝している「カスカベウ」を母体とする町田もまた優勝候補。大阪も「マグ」が母体で、これまた注目のチーム。町田優勢のゲーム展開であったが、シュライカー大阪が2点先行し、町田が追う形に。前半終了間際の町田の同点ゴールは、見事なパス回しで、フットサルの魅力が詰まったゴールだった。

後半開始早々、大阪が1点リードするが、ここから町田がゴールラッシュ。終わってみれば7-3で町田の完勝であった。このゲームでも、3点リードされた大阪がパワープレーを試みるが、逆にカウンターで1点を失い、さらにGKをやっていたチームの中心選手を怪我で失うなど、裏目に出た。パワ

プレーがあるのはわかったが、あまり得策ではないという気がした。

#### 4. 懇親会

月例会の本体は、19：00からの懇親会である。サロン2002の会員には、様々な形でフットサルに関わる人が多く、この日も「観戦ツアー」以外に、役員として、報道として、招待者として、多くのサロン会員が来場していた。そこで、試合終了後に集まってお祝いをしよう、それを9月例会としようというのが当初の計画で、サロン関係者だけの懇親会を企画していた。

一方、JFA・CHO（キャプテン・ヘッド・クォーターズ）のトライアルFA制度（ミッション7：フットサルの普及推進）を活用して、全国各地でフットサルの発展に取り組んでいる方々もこの機会に集まってくることが予想された。そこでCHQでも懇親会を企画するが、サロンと重複する人もいる。「せっかくなので、サロン2002の懇親会と一緒にやりましょう」となった。

トライアルFA関係者もサロン2002関係者もそれぞれ10人程度ということだったが、ふたを開けてみるとあわせて30名近く集まった。「フットサルの未来に乾杯！」とのCHQ部長の音頭で始まった懇親会は、いろんな人との交流が図られ、有意義なひとときだった。

（文責：中塚義実）

## II. 参加者からのコメント

### ◆加納樹里

男子のトップレベルの試合を観戦するのは初めての事でしたが、名古屋のパス廻しは、（恐らく）サッカー関係からあがってきた選手が多い他のチームとちょっと違う？と感じました。「するスポーツ」としても底辺が拡大したフットサルは、「観るスポーツ」としてはやはり自分たちとはちょっと次元が違うぞ！という感覚がないとコンスタントに観客を集めるのは難しいかと思います。開幕戦はともかく、地方の体育館がいつも地域の人で満員になるように、技術レベルの維持と地域での展開（例えばフットサル教室）、ローカルな支援企業の開拓などがのぞまれます。「するスポーツ」としては、当面はコンスタントに広がっていくに違いないと楽観しています。手軽さや、ファッション性、都会性、そして少なくとももしものレベルでは、必ずしも特別な体力や運動能力がなくても、そこそこ楽しめるという点がサッカーとは大きく異なると感じています。個人的には、フットサル（の技術をもって）サッカーへという流れにも期待しています。関係者への是非のお願いとしては、コートの下をしつかりしたものにして、無用な障害を減らしてもらいたいという事です。子供や中高年も含めたファンの獲得には「手抜き」が許されない「見えない大切な環境」だと思っています。

### ◆北原由

東京U18フットサル大会に何度かチーム出場している関係でFリーグ開幕がどんなものか見に来ました。大昔、僕が高校受験日前の日曜日に駒沢でセルジオさんのミニサッカー大会の時ほどは興奮しませんでした。（あのときのセルジオさんは本当に凄かった、、、）

今後1試合でも2000円で1時間半はちょっと高めの感じかなという気もします。

試合後、全国の方たちとの懇親会は、とてもよい時間を過ごすことが出来ました。

### ◆徳田仁

「開幕前のマスコミの露出が少ないなあ」などと思いながら、あっという間に開幕の日を迎えたFリーグでしたが、サロン2002の観戦企画が持ち上がり、数名の会員の方と代々木体育館前で待ち合わせして会場入りしました。やっぱり観に来て良かった！会場ではサロン2002の方々をはじめ、サッカー協会関係の方やメディア、広告代理店、コート施設、クラブ、選手・・・etc とFリーグを取り巻

くいろんな方々にお会いできました。久しぶりにお会いする方も多く、開幕セレモニーからキックオフまでの間は、こんにちとは握手の繰り返し。予想以上に多くの関係者が注目し、足を運んでいたのだと実感しました。

試合前の興味は、隣りで一緒に観戦していた理事長とともに、「開幕セレモニーはどんなだろう？」でした。93年のJリーグ開幕から14年ぶりに新たなリーグが誕生するにあたって、日本フットサル連盟会長・大仁さんがどんなスピーチをするのだろうと期待をしていましたが、当時の川淵Jリーグチェアマンのスピーチを模倣した感のあるそっくりのスピーチでした。まあ、ニュースを意識した短いスピーチなので似ていても仕方がないのでしょうか・・・。

それにしても、開幕セレモニーが予定開始時刻より10分以上も遅れた原因は何だったのか？未だに気になっています。

ともあれ、トップのレベルのフットサルを観戦するのは、5月のAFCアジアフットサル選手権・決勝以来であり、このアジア選手権においても多くの日本代表選手が選出されていた名古屋オーシャンズの開幕戦に期待がかけられました、結果は気合が空回りしたのか最少得点の1-1のドローに終わり、ちょっとガッカリ。もっとたくさんのゴールが観たかった！

第1試合終了後、私は夜の飲み会に備え少しだけ仕事をするために会社に戻りましたが、無事仕事を終え夜の懇親会に出席。私を含め出席者のほとんどがフットサルが日本に上陸した95年頃からフットサルに関っていた人たちばかりでしたのでFリーグ開幕は素直にうれしく、10年余の年月を思い出しながらおいしいお酒を飲みました。

個人的に翌24日（月・祝）に東京都サッカー協会・フットサル委員会で担当してる中学生のフットサル大会の運営（としまえん朝8:30集合）があったため、早めに引き上げた次第でした。

皆様、お疲れ様でした。

#### ◆中塚義実

東京都サッカー協会フットサル委員としてU-18年代を担当している関係で、ユース年代のフットサルをみる機会は多いのですが、トップレベルのフットサルをみる機会はこれまであまりありませんでした。だからFリーグの誕生は、一人のファンとして、トップレベルのフットサルを見る機会が増えるという点で大変うれしく思います。テレビでもっと取り上げてくれるとよいのですが…。まあとにかくここまでたどり着いたことを、まずは素直に喜びたいと思います。

懇親会は、サロン2002関係者とトライアルFA関係者が入り乱れ、予想通りごった返しでした。「サロン2002関係者」と言ってもフットサルに関わる人が多く、また「トライアルFA関係者」にもサロン2002に関わったことのある方もおり、Fリーグを肴にしつつ、大いに盛り上がりました。

熱い人とのつながりが、次のエネルギーになります。とてもよい機会でした。

#### ◆本多克己

まずは、Fリーグ関係者のみなさん、おめでとうございます。そしてごくろうさまでした。関西からの日帰りのため、中座になってしまい申し訳ありませんでした。

まずは、日本フットサルの歴史的瞬間に立ち会うことができ、幸せに思います。

日本サッカーについて語るとき、Jリーグから（あるいは98年から！）日本のサッカーの歴史ははじまったようなコメントを時折見かけます。（サロン、協会のなかではさすがにないですが。）もちろんそんなはずはなくて、Jリーグ開幕までに多くの先輩方の努力があったことは言うまでもありません。

開幕戦の会場、そしてサロンでは、これまでフットサルを支えてきた人たちとお会いすることができて本当にうれしく、楽しかったです。フットサルにおいては、「ここはゴールではなく、スタートなのだ」ということが现阶段では当然のように語られ、それは現在の問題意識として当然のことなので

すが、F開幕までの道のりを再確認し伝えていくことは、我々の責任といえそうです。

会場で気になったのは、得点ボードの小ささ。選手、審判からすれば何の問題もないことですが、7000人の有料観客に楽しんでもらうためには、検討が必要かもしれません。

#### ◆村木初年

1997年に出場した、府中水元クラブでの全日本選手権優勝からちょうど10年！ Fリーグが開幕し、その場にいることが出来た事を大変嬉しくおもっております。

Fリーグが今後も継続し、また、発展して行けるよう、サロン2002のメンバーと一緒に『フットサル』を盛り上げていけたらと思います。

#### ◆吉村修

私自身が地方（高知県）にいることから例会には今まで出席したことがなく、今回初めて参加をさせて頂きました。

私は今回、Fリーグの審判インストラクターとして開幕戦に出席することになっていましたので、中塚さんから23日の懇親会へお誘いを受け、喜んで参加させて頂きました。

今までにも例会へのご案内は頂いており、是非参加したいと思っていたこともあり、大変楽しみにしていました。

また、今回はJFAのトライアルFA関係者との合同懇親会でもあり、日頃、顔なじみの方も多く居ましたし、久しぶりの再開の方々とはFリーグの今後などについて話が弾みました。

サロン2002のメンバーとは今回、始めてお会いする方もいましたが、中には共通の友人を持っている人もあり、初対面とは思えない程、会話が進みました。

私の場合、今回は開幕戦での審判指導の任務（アセッサー）があったのですが、指導に関わりながら、Fリーグの運営関係者とも連携し、開幕に向け審判員の強化育成に携わって来ただけに開幕試合のキックオフのホイッスルは身の引き締まる思いがしました。

ここに至るまでのFリーグ事務局・フットサル連盟の方々には大変なご苦労があったことと思われまます。

しかし、懇親会の席でも話題になったようにFリーグは始まったばかりであり、今回で終わりではありません。

これから、リーグ全体の向上をすることが大変重要であると感じています。

運営面しかり、選手のレベルアップ、審判員の強化など多くの課題が残されています。

我々、指導をする者も幅広く、多くの知識を持って審判員への指導が出来るようにならなければ、良い指導は行えないと思っています。

審判員の強化・育成を図るには、体力・審判技術の指導だけではなく、今回参加をした方々やサロン2002のメンバーの様に多くの分野で活躍されている方々からのご意見や情報が大変参考になります。

今後、サロン2002の定例会などにおいても審判関係の情報やご意見について聞かして頂きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

Fリーグ・フットサル・サッカーに対して今後のご協力をお願いし、コメントとします。

以上